

科目名: <b>経営分析</b>		科目コード	EH71
科目主査: <b>土屋 晴行</b>		単位	2
担当講師: <b>小紫 恵美子、土屋 晴行</b>		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	カマ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要
<p>経営分析は、会社の問題を発見し解決策を見つけ出す手段です。健康診断と同様に、会社も定期的に内容をチェックする必要があります。経営分析によって経営危機を事前にチェックし、危険を回避することはできません。</p> <p>本科目では、財務情報などの会計データから、会社の収益性、安全性、成長性等を把握するために必要な経営分析の技法について学習します。そのうえで、財務分析、キャッシュフロー分析、損益分岐点分析、企業価値評価などを学習し、それらと実際の経営活動との関わりについても学習します。</p>			
履修の前提となる科目	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	科目名:簿記初級、簿記を基本から学ぶ	
履修の前提となる知識 その他特記事項	簿記3級と基本的な財務会計を復習してください。また簿記3級(商業簿記)は完全に理解したうえで、簿記2級の基本を学習してください(理解度を確保するための事前学習確認テストを実施します)。		
テキスト	『経営分析を学ぶ』田中 弘、山下 壽文、税務経理協会、2010年		
この科目の到達目標	<p>①主要な財務比率を計算して、その財務比率が示す内容から財務内容の良否を読み取るとともに、財務諸表上の数値から、資金繰り状況などの事業の実態を明らかにすることができる。</p> <p>②財務内容から事業の問題(売上、費用、利益の増減、資金繰りなど)の原因を明らかにして会社の全体像を把握し、会社の進むべき方向性について意見を述べるることができる。</p>		
成績評価の方法	各授業項目をしっかり理解できていれば回答できる試験問題になっているので、基本的に最終試験で評価します。		
事後学習	授業で学んだ経営分析の手法を活用して、実際の企業の会計データから、財務分析、キャッシュフロー分析、損益分岐点分析を行って、収益性、安全性を分析してください。		
事後学習の参考文献	『財務諸表分析入門』松村 勝弘、松本 敏史、篠田 朝也、BKC、2015年		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 大き目の電卓 <input checked="" type="checkbox"/> 定規			